

校外学習（４年生：防災）



４年生が、人権福祉センターや地域のフィールドワークに行き、防災について学びました。

天川区長の石田様からは、昔、地域の川の幅が狭く、うねっていたため氾濫を繰り返していたことや、現在は川幅が広く、直線の形に修正されたことから氾濫がなくなったことを実際に川を見ながら教えていただきました。

人権福祉センターの俣野館長と原西様には、人権福祉センターが避難場所に指定されていることや防災グッズを見せていただいたり体験させていただいたりして、災害が発生した場合でも備えがされていることを教えていただきました。

また、昭和 28 年台風 13 号の影響で、蕨田野町でも大水害が起こり、南桑中学校の校舎が大きな被害を受けたことや、地域の人々が懸命に救助活動をされたことにより、京都府知事より蕨田野村消防団へ柱時計が贈られ、現在も大切にされていることを教えていただきました。

防災意識を高めることは、自分自身や大切な人の命を守ることにつながります。とてもとても大切な学習となったのではないかと思います。